

月刊 AEHA通信 2022 年9月号

◆◆◆ 今月の主な内容 ◆◆◆

- ◇トピックス : 家電リサイクル常設展示ブースに理事長訪問
- ◇主な委員会活動等 : 第3回省エネルギー対策委員会他
- ◇協会インフォメーション : 今後の行事予定他
- ◇定点観測データ : 家電リサイクル法対象4品目引取実績他
- ◇溜池ボイス : 返品お断り



■□■ トピックス ■□■

◆家電リサイクル常設展示ブースに、沖津理事長訪問(8月10日)

8月10日、「おおさかATCグリーンエコプラザ」内に先月オープンしました 日本初の家電リサイクル常設展示ブースを、当協会・沖津理事長が訪問、視察いたしました。

このブースは、将来の循環型社会を担う子供たちに、家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機)がどのような構造でリサイクルされているのかを、実物商品や映像を活用し、ゲーム感覚で楽しみながら学んでいただく目的で、家電製品協会が8月2日に開設したものです。

訪問にあたっては、ATCグリーンエコプラザより、田中課長、伊東実行委員長、及びアジア太平洋トレードセンターからは木村社長、北澤部長に対応をしていただき、常駐の説明員からブース説明を受けました。

沖津理事長からは、普段はリサイクル工場まで足を運ばなければ見られないものを気軽に見学できる場であり、かつ、家電リサイクルだけではなく様々な環境配慮の取り組みを紹介している施設を設置できたことは大変有意義に思う。環境配慮への取り組みは今やグローバルレベルでの必須事項であり、消費者の皆様の理解と協力は欠かせず、会員企業の皆様にもそれぞれの事業活動の中で積極的に活用いただき、業界全体での社会貢献に取り組んでいこうお願いしたいとのコメントがありました。



左から田中課長、伊東委員長、沖津理事長、木村社長、北澤部長、説明員



リサイクル工程の説明を聞く沖津理事長

◆家電リサイクル常設展示ブースがびわこ放送番組にて紹介(8月26日)

家電製品協会が、「おおさかATCグリーンエコプラザ」内に8月2日に開設しました、日本初の「家電リサイクル専用常設展示ブース」の開所式の様子が、8月26日にびわ湖放送の「勇さんのびわ湖カンパニー」という番組で紹介されました。

参考映像：<https://www.youtube.com/watch?v=6cgRjlzzvc8&t=2244s>

番組では夏休みに当展示ブースを訪れたたくさんの小学生達が、家電製品のリサイクルされる工程を興味深く見学する様子が報道されました。



■□■主な委員会活動等■□■

<家電業務部関連>

◆第3回省エネルギー対策委員会(8月30日)

2022年度第3回の省エネルギー対策委員会を開催いたしました。

主な議題は以下のとおりです。

1. 総合資源エネルギー調査会・省エネルギー・新エネルギー分科会・省エネルギー小委員会及び傘下のワーキンググループにおける審議内容の確認
2. 日本電機工業会「2050CN実現へのロードマップ」セミナー報告
3. 省エネ家電温暖化防止啓発WGの活動報告

○第2回省エネ家電温暖化防止啓発WG(8月30日)

2022年度第2回省エネ家電温暖化防止啓発WGを開催いたしました。

主な議題は以下のとおりです。

1. 7月度アクセスレポート報告
2. 電力料金目安単価改訂に伴う対応について
3. 制作事業者入札に向けて

◆製品安全委員会関連

今月委員会開催されておりませんが、下記2022年度経済産業省の検討会、WGへ当委員会が参画し議論が進められております。

1. 第1回IoT-SFF適用実証打合わせ(8月24日)
2. 第1回リコール対応WG(8月29日)

◆第3回 UD技術委員会(8月5日)

本委員会では、UD関連のJIS、ISO原案作成委員会に委員を派遣し、業界意見の反映を図っています。
また、UD関連に取り組む関係機関との意見交換を通じて政策の動向把握と課題発掘に努めています。

1. 2022 年度活動進捗状況、日程、運営体制について
2. (家製協)ICT連携配慮指針の有識者へのヒアリング結果反映と評価アプリ作成の為に光/バイブレーション機能について検討
3. 「新たな日常生活に向けた製品及びサービスに関するアクセシビリティ配慮」に関する国際標準化検討会について

◆消費者啓発委員会関連

本委員会では、近年の消費者関連の法令や制度の改正・拡充に対応し、行政、消費生活センター、消費者団体との交流を一層深め、製品安全ページの充実を図り、消費者問題に対する業界の積極的な取り組み姿勢をPRしています。

○UD配慮配慮家電ページの定期更新について

UD配慮家電製品掲載内容および製品事例紹介ページの定期更新をおこないました。



<環境部関連>

◆製品アセスメント委員会

○2022 年度 第 2 回リサイクル配慮設計検討WG (8 月 25 日)

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨(案)確認
2. 第1回 既発行資料の勉強会

◆家電リサイクル委員会

○第5回 2022 年度普及広報WG(8月 25 日)

主な議題は以下のとおりです。

1. 「3秒でえらべる家電の捨て方」豆知識の新コンテンツ案について
2. 「3秒でえらべる家電の捨て方」豆知識の新コンテンツ制作スケジュールについて
3. 「3秒でえらべる家電の捨て方」SEO対策7月度報告
4. 「3秒でえらべる家電の捨て方・豆知識」の7月度アクセス件数について
5. 今後のリスティング広告サイト改善について
6. 家電リサイクル常設展示ブースの開設報告
7. スケジュール・その他

<認定センター関連>

◆8月度 情報発信・教育部会（8月22日）

第43回資格認定試験の受験申請結果報告、および参考書作成の活動スケジュールやマイスタディ講座関連、収集情報のポイントなどについて審議しました。

1. 近況報告、A&E参考書、日程
2. 8月情報 収集情報
3. マイスタディ講座「ここが要点」8月原稿他

◆第135回 認定制度委員会（8月25日）

主な報告、審議事項は以下のとおりです。

1. 2022年9月（第43回）資格認定試験の受験申請受付結果
2. 2022年11月1日付資格更新の進捗状況
3. 周知・広報活動について
4. 2022年度事業計画の進捗について
5. その他

<管理部>

◆第5回家電ハンドブック編集専門委員会（8月19日）

2022年版「家電産業ハンドブック」の第5回編集専門委員会を8月19日に開催しました。昨今の感染症第7波の為、委員長以外はフルリモートでの参加となりました。従来、第5回委員会では各社2人1組にて初校校正の作業になりますが、今回はテレワークでの対応となるため、実際の作業は翌週となり、委員会当日は参考資料編等の審議となりました。

今後、9月初旬の再校校正を経て、10月中旬を発刊予定としています。また、発刊と同時に、その抜粋版（統計資料編の官庁発表関連データを主に掲載）は、協会HPに掲載予定です。



■□■協会インフォメーション■□■

◆人事異動

日付	氏名	新	旧
2022年8月31日	川上 尚之	退職	事業協力室
2022年8月31日	山崎 淳子	退職	経理部

◆今後の行事予定

年	月 日	時 間	行 事	主な議題等	場 所
2022	11月28日(月)	16:00～17:00	第41回運営委員会	部門別活動報告	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
2023	2月20日(月)	15:00～17:00	第42回運営委員会	理事会・評議員会事前説明 部門別活動報告	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	3月 3日(金)	15:00～17:00	第21回理事会	2023年度 事業計画・収支予算等	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	3月15日(水)	15:00～16:30	第20回評議員会	報告事項 (2023年度事業計画等)	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	5月19日(金)	15:00～17:00	第43回運営委員会	理事会・評議員会事前説明 部門別活動報告	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	5月26日(金)	15:00～17:00	第22回 理事会	2022年度 事業報告・決算報告	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	6月15日(木)	15:00～16:30	第21回 評議員会	2022年度 事業報告・決算報告 理事選任	ザ・キャピトルホテル 東急
		17:00～17:15	第23回 理事会	代表理事選定	
		17:30～19:00	第 4 回家電産業交流会	理事長挨拶	

■□■ 定点観測データ ■□

◆家電リサイクル法対象4品目引取実績(8月度)

2022 年8月度の4品目の引取実績は、以下のとおりです。

(台数:千台)

品 目	当 月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	489	103%	2,341	105%
2.テレビ 計	336	102%	1,544	95%
① ブラウン管式	55	85%	282	81%
② 液晶式・プラズマ式	281	106%	1,261	98%
3.冷蔵庫・冷凍庫	368	103%	1,630	102%
4.洗濯機・衣類乾燥機	379	102%	1,729	94%
合 計	1,572	103%	7,244	99%

(うち指定法人)

(台数:千台)

品 目	当 月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	5	98%	20	97%
2.テレビ 計	19	97%	95	90%
① ブラウン管式	5	92%	25	84%
② 液晶式・プラズマ式	14	99%	69	92%
3.冷蔵庫・冷凍庫	23	88%	111	88%
4.洗濯機・衣類乾燥機	8	94%	38	89%
合 計	55	93%	263	89%

◆家電製品PLセンター相談等受付件数実績(8月)

2022 年8月度の相談受付件数は、213 件(累計 855 件)です。

詳細は、家電製品 PL センターホームページの月次インフォメーションを参照願います。

<https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/>

◆家電製品国内出荷額の月別・年度別推移データを更新

2022 年6月度実績と年間推移を、協会ホームページに掲載しました。

<https://www.aeha.or.jp/about/pdf/shukkasui202206.pdf>

■□■ 溜池ボイス ■□■

◆返品お断り

先日、アラサーの娘が「会って欲しい人がいる」と言うので、時到来とばかりに家内と二人、「ちむどんどん」気分で待ち合わせの場所に赴きました。学生時代アメフトをやっていたという大きな体格で、食事会は好印象でスタートしましたが、「趣味は？」という定番の質問に「軽音を少し」と言う、その体格からは予想外の回答に戸惑いながらも「例えば？」と食い下がると、「エアロスミス」と言う懐かしい言葉が返ってきました。そこから先は、遥か半世紀前の時空の彼方へと「Back to the Future」したのです。

半世紀前と言えば、Beatles 解散後のハードロック全盛期で、中でも今やロック界のクラシック「Deep Purple」が来日したのが 1972 年。今年はちょうど来日 50 周年を迎えますが、その時の来日公演が収録されたライブ盤が、その後のロック界のバイブルとなり、その名もなんと「Made in Japan」

筆者はP社現役時代、一貫して海外営業、特に欧州が中心でしたが、所謂 EURO5(英独仏伊西)以外の市場では、平成の世でも「Made in Japan」は根強い人気がありました。円高で本社が生産拠点の海外シフトを進める中、我々営業は「Made in Japan」神話を「皮肉にも」無力化することに心血を注ぎました。その円高も、平成期の 2011 年 10 月に対ドルで 75 円 32 銭になった時は、「Made in Japan」の終焉を覚悟したものです。

こうして日本の産業界から「Made in Japan」が消えていく中、ロック界の「Made in Japan」は昭和→平成→令和の世を生き残り、2004 年には Remaster 版まで出るほど名を残したのは嬉しい限りです。この「Made in Japan」というブランドは、我々の諸先輩方が粉骨砕身された賜物です。折しも令和の現代、円が 140 に戻りました。今こそ「Made in Japan」の精神を振り返り、「ものづくり」の原点に戻る時ではないでしょうか。

ところで食事会は、エアロスミスから、KISS、QUEEN、プログレへとロック談義に花が咲き、「この次は拙宅で」とまで盛り上がりましたが、別れ際彼には、「返品はお断りね」と釘をさすのは忘れてはいません。



本メールは一般財団法人家電製品協会の賛助会員の皆様に配信しています。

記載された内容を許可なく転載・複製することを禁じます。

【配信停止方法】

本メールの配信の停止をご希望される方は、会社(団体等)名、氏名及び「配信停止を希望する」旨を本メールの返信にてご連絡ください。



〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-7-1 霞が関東急ビル 5 階 代表 tel.03-6741-5600

